

# ひまわり

① 2019  
JAN

社会福 亀岡  
第三かめおか作

## もくじ

- 2 情勢 ~2019年の幕開けに~
- 3 新2019年 今年もがんばります！（各事業所新年の様子）  
 蔭田野町の「ふれあい声かけ」にかめおか作業所も参加しました！
- 4 温故知新学習会を開催！
- 5 第42次国会請願署名・募金運動にご協力をお願いします！！
- 6 ちょっと聞いてよ！第18回・時・ご寄付

お正月もがんばってます！第三かめおか作業所

## 社会福祉法人 亀岡福祉会

○法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

## 西村 直

TADASHI NISHIMURA

社会福祉法人亀岡福祉会  
理事長

## 2019年の幕開けに

2019年、あけましておめでとうございます。旧年中にいただきました大きなご支援に心からの感謝を申し上げますとともに、飛躍をめざす今年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 地道な取り組みを

## 地域ぐるみで

私どもが無認可共同作業所の設立から40年の節目を超えた昨年、私どもも加盟し共に活動をすすめるきようさんの第41回全国大会が京都で開催されました。全国から4500人の参加者、800人のボランティアの協力を得て「ともに生きる、ともに創る、夢ある未来へ京都から」をテーマにふさわしい内容で大きく成功することができました。大会を通して、批准から5年を経過した障害者権利条約が謳う「平等と無差別」を地域のすみずみに浸透させていくテーマの大切さ、その実現に向けた行政、事業所、そして地域社会などの課題を確かめ合うことができたと思います。今後はこの成功を力に「障害のある人も排除されることなく社会の構成員として認められる社会づくり」にむけた地道な取り組みを地域ぐるみで取り組んでいくことになるでしょう。

## どのような未来を

## 展望するのか

一方、国内の動きに目を転じてみると前述の障害者権利条約の理念が浸透しているだろうか？との疑問を禁じえません。昨年の8月に表面化した中央省庁の障害者雇用率偽装(水増し)問題、また、昨年1月30日宮城県の障害のある女性が提訴して社会問題として表面化した「旧優生保護法による強制不妊手術」の実相など国策によって行われた障害のある人の人権と尊厳を蔑ろにした事態が明らかになったのです。亀岡福祉会は昨年の40周年の節目をどう迎えるどのような未来を展望するかが大きく問われています。「高齢化」「世代交代」「事業の安定化」「安定した働き手の確保」などのキーワードを「多様な願い」「共同の力」「地域との提携」「40年の地道な歩み」などのキーワードで迎え、「あたりまえ」「安心、安定」「誰もが大切に」をこの地域に創っていききたいと思っています。

## 亀岡福祉会40年の歩み

## || 共感と共同の歩み

2019年をそのスタートの年にしていくために法人内に「亀岡福祉会ビ

ジョン2025策定委員会」(仮)と「亀岡福祉会40周年記念事業推進委員会」(仮)を設置する準備をしています。

亀岡福祉会40年の歩みは障害のある人たちの「あたりまえに生きたい」願いでつながり広がった多くの方々の共感と共同の歩みだったと思います。その力をさらに大きく、強く、たくしなから変化する願いに応えていくために奮闘していく決意です。

ひまわりを愛読していただいております皆様方のご健康をお祈りし、歴史的な1年になる本年のご支援ご協力をあらためてお願い申し上げます。



# 2019年

# 今年もがんばります!!



## 第三かめおか作業所



今年も各事業所で、新年最初の日はみんな集まってる行事となりました。かめおか作業所では石田所長の挨拶の後、「今年も仕事に励み、大きく羽ばたきましょう!」と決意を確認しました。第二かめおか作業所ではみんなでき初めをしました。第三かめおか作業所とデイセンターがあればは合同で新年の抱負を語り合い、第三かめおか作業所は、翌日にみんなが書初めをし、それぞれが今年の目標を書いて決意を新たにしました。今年もよい1年になりますようみんなががんばりたいと思います!

## かめおか作業所

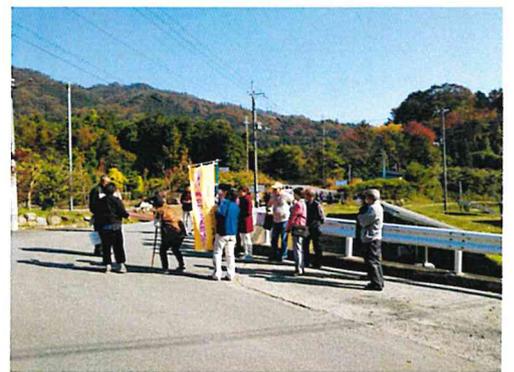
## デイセンターばねばね

## 第二かめおか作業所



## 蕪田野町の「ふれあい声かけ」にかめおか作業所も参加しました!

かめおか作業所がある蕪田野町にて、蕪田野町自治会と地区社会福祉協議会の主催で、第4回目となる「ふれあい声かけ(認知症徘徊模擬訓練)」が11月11日(日) 社会福祉法人利生会特別養護老人ホーム第二亀岡園で開催され、かめおか作業所も皆さんと一緒に参加しました。芦ノ山区、奥条区、柿花区の住民のみなさんを対象に、亀岡市中部包括支援センターの協力のもと企画され、約80名の住民の方々が模擬訓練に参加されました。当初は戸惑いもあった参加者の皆さんですが、訓練が進むに従い、次第に笑顔での対応がどんどん広がり、とても有意義な時間と



なりました。これからの日本は高齢化の進展に伴い、2025年には約5人に1人は認知症になると言われています。蕪田野町は「認知症の人にやさしい、高齢者が徘徊しても安心できる蕪田野町」を目指しています。そのため、認知症について正しい知識の普及と理解の向上を図ろうと毎年認知症サポーター養成講座も行い、地域での見守りや支え合いを一層推進していこうと模擬訓練を継続して取り組まれています。誰にもやさしい地域づくりをこれからも、みなさん一緒に進めていければと強く思った取り組みでした。